

長野県社保協ニュース <19-9>

2014年11月26日(水) 長野県社会保障推進協議会

<事務局>長野市高田 276-8 県労連会館 1階 TEL 026-223-1281・FAX 026-223-1291

<http://www.n-syaho.com>

E-mail: naganosyahokyou1281@star.ocn.ne.jp

総選挙来週2日公示 (12/14投票)

安倍暴走政治に厳しい審判を!

しっかり見極め、投票しよう!

消費税増税を強行し、医療・介護の改悪を進めたのは誰か!

11月12日(水) 議員要請行動に参加した長野医療生協からニュースを頂きました。紹介します。↓

長野県選出の国会議員要請、議員会館の部屋を訪問

長野県より選出国會議員 15 名中自民党 7 名、民主党 2 名、維新 1 名の合計 10 名の秘書へ要請。「医療・介護の充実」「生保実態調査の当事者の声、住宅扶助と冬季加算引下げ中止を求める」「介護保険をよくする会結成のお知らせ」の 3 点について要望しました。

秘書対応のため反応はあまりなかったが、自民党小坂憲次事務所の秘書は、生活保護の実態について共感していたようだった。総選挙の報道がマスコミで流れていることについても、どこの事務所も静観している様子だった。

引き続き、現場の声を議員に直接届けることは、重要だと思う。事前アポをとった議員と会うことはできなかったが、あきらめず、はたらきかける。国民・県民の声の高まりが、政治を動かしていく。(地域活動部 石川)



介護ウェブから 老健ふるさと成澤、社保事務局から 地域活動部石川、企画教育部宮崎が参加しました。



厚労省交渉:介護報酬引き下げ、職員確保困難を訴える



医療・介護改善、消費税増税中止を求めて厚労省交渉を行いました。交渉には長野・千葉・埼玉・東京と中央社保協を中心に 20 人が参加。厚労省からは保険局・老健局が対応。老健の成澤さんが参加しました。

内容は、今後の医療総合法案や介護保険改訂、介護報酬の引き下げや生活保護受給者の給付に関する問題を提起しておりました。各県より(千葉・群馬・長野)地方での状況説明などを踏まえ、今後の改定をより審議していただくように話をさせていただきました。

長野からは、介護報酬引き下げという事態になると、経営上ウエイトを占める人件費へのしわ寄せがあり、処遇改善交不均等が実施されても、生活は苦しく、また介護職員確保が困難な事業所もあることを話し、介護職員の人材確保という点で大きな問題ともなってくるのでは?行政だけでなく、民間の力(職場)と協力し、介護職員のイメージアップをはかったりと、人材確保にともに協力しアイデア等出し合えればとお話させていただきました。

何より、厚生労働省各担当職員の方々若くはビックリでした。今回の行動参加の体験を自分の中だけにとどめるのではなく、多くの方へ情報発信できたらと思いました。(老健ふるさと 成澤)

12日の国会行動から1週間。この日から情勢は動き、解散・総選挙となりました。12月14日投票です。医療と介護の充実、国民の暮らしを守る政治をつくる選挙にしましょう。政策を学び、投票に行きましょう。